



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場会社名 株式会社ヤマザワ

上場取引所 東

コード番号 9993 URL <http://www.yamazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 宮雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 森 美博

TEL 023-631-2211

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	50,180	11.1	2,103	90.3	2,115	88.9	1,214	323.7
23年3月期第2四半期	45,117	△1.4	1,105	△8.4	1,119	△8.1	286	△52.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,210百万円 (306.4%) 23年3月期第2四半期 297百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	111.63	111.55
23年3月期第2四半期	26.34	26.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	44,482	27,430	61.6
23年3月期	41,978	26,362	62.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 27,418百万円 23年3月期 26,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	13.50	—	13.50	27.00
24年3月期	—	18.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	13.50	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	9.9	3,450	33.3	3,500	32.8	1,900	145.8	174.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	10,960,825 株	23年3月期	10,960,825 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	78,452 株	23年3月期	78,412 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	10,882,398 株	23年3月期2Q	10,882,098 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日の東日本大震災により甚大な被害が発生、また福島第一原子力発電所事故の影響による電力の使用制限や円高による輸出産業の業績不安などにより先行き不透明な状況となっております。当社グループの営業基盤である東北地方は震災で大きな被害を受けましたが、徐々に経済活動が再開し、持ち直しの兆しはあるもののいまだ復興が進まない地域も多く、非常に厳しい環境が続きました。

小売業界におきましては、競合各社の新規出店や低価格政策による競争に加え、東日本大震災による商品供給の不安定や原発事故による電力供給不足への対応等、非常に厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、当社グループにおきましては「地域のお客様に繰り返しご来店していただける店づくり」に向け全社一丸となって各施策の実行および検証を行なってまいりました。

なお当連結累計期間はスーパー創立50年を迎える節目の年となります。50年の永きにわたりご支援いただいたお客様への感謝の気持ちとして「ありがとうの50年」と題し各種企画を実施してまいります。

設備投資におきましては、既存店の活性化といたしまして平成23年5月に白山店（山形県山形市）の改装を実施いたしました。生鮮売場を中心に買いやすい売場への変更と、併設しておりましたドラッグ売場を拡大し利便性の向上と品揃えの充実を図りました。

販売面におきましては、お客様の低価格への要望が続く中、スーパーマーケット事業は引き続き恒例の「生活応援セール」や「水曜均一祭」の強化を行ってまいりました。また、毎日午後2回のタイムサービスを全店舗で継続実施いたしました。野菜や日配品を中心に数量を限定して価格を通常より大幅に下げて販売し、好評を得ており定着してまいりました。お客様サービスの向上といたしましては、クレジットによるレジ精算を導入いたしました。利用店舗を順次拡大し、8月より全店で利用可能となりました。

これらの取り組みにより、売上面では震災により宮城県内の6店舗が一時休業を余儀なくされたものの、客数が伸び、お客様1人当たりの買上点数も増えたことにより増加いたしました。利益面では震災の影響によりチラシ特売を見合わせた期間があったことや生鮮食品の値下げ販売が減少したこともあり、売上総利益率が改善しました。販売費及び一般管理費におきましては、節電対策により光熱費の削減となったものの、販売費等の費用が増えたことで増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は501億80百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は21億3百万円（同90.3%増）、経常利益は21億15百万円（同88.9%増）、四半期純利益は12億14百万円（同323.7%増）となり、増収増益となりました。

なお、平成23年4月7日に発生しました東日本大震災の余震による店舗の建物被害等104百万円を特別損失に計上しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は444億82百万円となり、前連結会計年度末と比較して25億4百万円の増加となりました。

資産の部においては、減価償却等による建物及び構築物の減少等がありましたが、東日本大震災により閉店しておりました店舗の営業再開及び商品供給体制の回復や売上高の増加等に伴う商品及び製品の増加、現金及び預金の増加等となりました。

負債の部においては、災害損失引当金及び短期借入金の減少等がありましたが、売上高の増加等に伴う商品の仕入による買掛金の増加、店舗復旧工事等による工事代金の未払金計上による流動負債その他の増加及び未払法人税等の増加等となりました。

なお、純資産は274億30百万円となり、自己資本率は61.6%となっております。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は74億41百万円（前年同四半期45億54百万円）となり、前連結会計年度末と比較して12億26百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは22億70百万円の収入（同18億99百万円の収入）となりました。これは主に、たな卸資産の増加、災害損失の支払及び法人税等の支払額の増加等があったものの税金等調整前当期純利益が20億49百万円と大幅に増加したこと及び仕入債務の増加等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは4億67百万円の支出（同5億64百万円の支出）となりました。これは主に、新店出店予定地の取得等に伴う有形固定資産の取得による支出等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは5億76百万円の支出（同4億92百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の返済、ファイナンス・リースの返済による支出及び配当金の支払等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月27日に公表いたしました業績予想につきましては修正を行なっております。具体的内容につきましては、平成23年10月24日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,485,091	7,711,636
受取手形及び売掛金	500,270	563,888
商品及び製品	2,635,879	3,755,691
仕掛品	1,027	796
原材料及び貯蔵品	111,827	89,814
その他	1,510,558	1,473,965
流動資産合計	11,244,655	13,595,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,516,632	11,102,574
土地	13,520,993	13,673,289
その他(純額)	1,442,007	1,828,429
有形固定資産合計	26,479,633	26,604,293
無形固定資産	1,221,933	1,213,627
投資その他の資産	3,031,777	3,068,438
固定資産合計	30,733,344	30,886,359
資産合計	41,978,000	44,482,151
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,369,778	6,871,479
短期借入金	1,340,000	1,120,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	714,521	929,198
賞与引当金	418,100	448,100
役員賞与引当金	14,500	13,420
ポイント引当金	423,772	457,179
商品券回収損失引当金	66,178	50,913
災害損失引当金	515,165	—
その他	3,444,042	3,615,209
流動負債合計	12,506,059	13,705,500
固定負債		
退職給付引当金	455,311	468,094
資産除去債務	757,810	766,373
その他	1,896,207	2,112,161
固定負債合計	3,109,329	3,346,628
負債合計	15,615,388	17,052,128

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,388,717	2,388,717
資本剰余金	2,205,192	2,205,192
利益剰余金	21,881,422	22,949,284
自己株式	△89,309	△89,358
株主資本合計	26,386,023	27,453,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30,434	△34,850
その他の包括利益累計額合計	△30,434	△34,850
新株予約権	7,022	11,037
純資産合計	26,362,611	27,430,022
負債純資産合計	41,978,000	44,482,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	45,177,079	50,180,796
売上原価	32,586,561	36,062,746
売上総利益	12,590,518	14,118,050
販売費及び一般管理費		
給料	4,180,156	4,383,872
賞与引当金繰入額	395,478	438,415
役員賞与引当金繰入額	11,880	13,420
退職給付費用	48,755	49,547
ポイント引当金繰入額	416,877	457,179
減価償却費	763,026	783,373
その他	5,668,854	5,888,825
販売費及び一般管理費合計	11,485,027	12,014,633
営業利益	1,105,491	2,103,416
営業外収益		
受取利息	3,562	3,516
受取配当金	5,578	5,495
その他	16,406	14,520
営業外収益合計	25,546	23,531
営業外費用		
支払利息	6,222	5,210
その他	5,149	6,461
営業外費用合計	11,372	11,671
経常利益	1,119,665	2,115,276
特別利益		
固定資産売却益	2,161	—
貸倒引当金戻入額	4,767	—
災害損失引当金戻入益	—	51,217
災害見舞金収入	—	51,617
その他	—	13,585
特別利益合計	6,929	116,421
特別損失		
投資有価証券評価損	33,008	—
固定資産売却損	—	702
固定資産除却損	28,138	31,944
減損損失	29,664	45,072
災害による損失	—	104,521
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	451,828	—
特別損失合計	542,640	182,240

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
税金等調整前四半期純利益	583,954	2,049,457
法人税、住民税及び事業税	528,724	900,144
法人税等調整額	△231,443	△65,461
法人税等合計	297,281	834,683
少数株主損益調整前四半期純利益	286,672	1,214,774
四半期純利益	286,672	1,214,774

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	286,672	1,214,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,184	△4,416
その他の包括利益合計	11,184	△4,416
四半期包括利益	297,857	1,210,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	297,857	1,210,357
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	583,954	2,049,457
減価償却費	815,130	833,188
減損損失	29,664	45,072
災害損失	—	104,521
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,000	30,000
受取利息及び受取配当金	△9,140	△9,011
支払利息	6,222	5,210
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26,611	△1,097,566
仕入債務の増減額(△は減少)	536,149	1,501,700
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	451,828	—
その他	△225,317	△382,747
小計	2,156,881	3,079,825
利息及び配当金の受取額	6,225	6,161
利息の支払額	△5,420	△5,304
保険金の受取額	—	200,000
災害損失の支払額	—	△324,280
法人税等の支払額	△258,322	△685,468
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,899,363	2,270,934
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△387,621	△447,986
敷金及び保証金の差入による支出	△86,935	△15,345
敷金及び保証金の回収による収入	43,130	19,544
その他	△133,552	△23,639
投資活動によるキャッシュ・フロー	△564,979	△467,426
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	△220,000
配当金の支払額	△146,903	△146,912
その他	△145,727	△210,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	△492,630	△576,963
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	841,753	1,226,544
現金及び現金同等物の期首残高	3,712,568	6,214,979
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,554,321	7,441,524

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。